

## 平成22年度 第2回東北ブロッククラブミーティング開催報告

平成22年11月13日(土)・14(日)秋田県青少年交流センター ユースパルにおいて第2回東北ブロッククラブミーティングを開催しました。

### 【11月13日(土)】

初日は創設支援クラブを対象に、まず山形・秋田・青森・宮城からのシンポジストを迎えて「クラブ創設に向けた準備と創設後の運営を創造する」というテーマにおいて事例発表をいただきました。発表に対しては参加者から多くの質問が寄せられ、クラブ運営に関して活発な意見交換が行われました。後半は以下に記す4つのテーマでグループディスカッションを行い、参加者が各々の思いを述べるなどして情報を交換しました。



テーマ1の「指定管理について」は、具体的な情報を得てクラブのメリットをはっきりとさせて指定管理業務を受けるべき等の助言者からのアドバイスの中、これまで施設を使用している既存の団体に対してどのようにして接点を持つか、また施設利用に関して、既存団体の活動とクラブの活動との区別をどのようにするかなどが話し合われました。



テーマ2の「資金調達について」は、会費設定に関する内容を重要視し、会員のニーズに合わせる、隣接地域のクラブとも肩を並べて同じくらいに設定したい等の意見交換がなされました。また、資金調達的手段や資金繰りの1つとして指定管理業務を安易に受けるべきでは無く、クラブの長期展望・展開をシュミレーションして取り組むことや、各縣市町村でスポーツ振興計画や発展計画があればクラブの

長期計画に盛り込めるなどの意見交換がなされました。

テーマ3の「広報手段について」は、スポーツクラブは人であり、同じ方向を見て取り組むことによって、楽しい声が上がれば人が人を呼ぶといった意見が出されました。具体的な手段としては、体育指導委員や行政事業の中でクラブをアピールしてもらう事によって効果が大きくなること、多くのスタッフを取り込むことにより、クラブの可能性や方向性が広がること、チラシ等の学校配布、地域全戸配布、新聞折り込み、ケーブルテレビの活用、ブログの開設等があげられましたが、口コミが一番確実で手応えもあり良い方法として考えられるなど、それぞれのメリッ



ト・デメリットが語られました。

テーマ4の「フリーテーマ」では、クラブ運営上の課題や問題点について話し合われました。参加クラブの中では、事務局を行政が担当しているクラブが多く、クラブ設立、自立に向けた活動における行政の関わり方、設立後の事務局体制等について多くの議論が交わされました。

また、参加クラブそれぞれに置かれた立場での意見や質問も多く出されました。その中で出された参考事例や失敗事例を通じて、デメリットばかり考えるのではなく、楽しくやることを大前提に場を作ることがよりよい運営に繋がる事、設立して次の段階に邁進する事、教育委員会・体育協会は案内人であり、良い人材・素晴らしい指導スタッフがクラブへ入っていただけようお互いが共存の形をとる事、クラブ育成アドバイザーからの情報収集も必要であるといった意見が出されました。それぞれのクラブが抱える問題をお互いに享受することによって、課題が明確になり解決に向けた方向性が示され、参加者が共通のクラブ理解を図れた有意義な時間であったと思われま



#### 【11月14日(日)】

2日目は、主に設立しているクラブを対象に「総合型地域スポーツクラブと指定管理」というテーマにおいて NPO 法人まつそのスポーツクラブ理事長・浅沼道成氏と、NPO 法人とよさとマイ・タウンクラブ理事・千葉桂志氏の2名に先進クラブとしての事例を発表していただきました。



その後、以下に記す3つのテーマにおいて、8グループに分かれてグループディスカッションを行い、クラブ育成アドバイザーの進行のもと、県や市町村の状況、参加したクラブが持ち抱える問題点など、今後のクラブ発展のための情報交換が活発に行われました。

テーマ1の「クラブ会員の募集について」は、各々のクラブ自己紹介から始まり、各クラブが地域の実情に合わせて工夫して会員募集を積極的に行っていることなどが挙げられました。

テーマ2の「財源の確保について」では、事業の企画を作成することが大切であること、指定管理業務を受託するための施設の確保をどうするのか、また法人格を取得することによってのメリットなどが上げられました。また、全住民参加



型の企画を考えることが大切であり、クラブにおいては住民が主人公である事や地域と行政との一体化がこの東北ブロックには必要不可欠であるといったことなども議論されました。その為には、各自でスポーツを楽しむがクラブへは入らないことから、加入率空白化と言われる若い世代（20代・30代）をどう取り込むかなど、共通して抱える問題もあり、予定時間をオーバーするほど白熱した議論が行われました。



テーマ3の「フリーテーマ」では、会員の運営参加、クラブの組織体制、運営スタッフ・指導者の確保、地域のネットワークづくり、後継者について等、様々な角度から質疑応答がなされ、クラブ育成アドバイザーからの助言を参考に、総合型クラブの目的理解を深めるため、今後も情報交換等を踏まえた各県のクラブ連絡協議会を開催することやクラブの意義を地域に広げていくことの必要性を再確認しました。

グループディスカッション終了後には、各クラブから持ち寄られたご当地お菓子をいただきながら情報交換を行い、さらなる盛り上がりを見せました。

今回は参加人数が多く、今後国の指針でもあります「新しい公共」を担うスポーツクラブの育成を見据えた有意義な会となったと思います。東北地域のクラブが抱える問題が全て共通とは限りませんが、地域の実情にあった課題問題を共有することにより、この会がより一層の総合型地域スポーツクラブの発展への架け橋となることを期待しています。

（報告：東北ブロック地方企画班員 村上 聖子）